

「ネヘミヤの祈りから学ぶ」

ネヘミヤ記1章1～11節

1

ハカルヤの子ネヘミヤのことば。第二十年(前445)のキスレウの月に、私がシュシヤンの城にいたとき、私の親類のひとりハナニが、ユダから来た数人の者といつしよにやって来た。そこで私は、捕囚から残ってのがれたユダヤ人とエルサレムのことについて彼らに尋ねた。すると、彼らは私に答えた。「あの州の捕囚からのがれて生き残った残りの者たちは、非常な困難の中にあり、またそしりを受けています。そのうえ、エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼き払われたままです。」私はこのことばを聞いたとき、すわって泣き、数日の間、喪に服し、断食して天の神の前に祈って、言った。「ああ、天の神、【主】。大いなる、恐るべき神。主を愛し、主の命令を守る者に対しては、契約を守り、いつくしみを賜る方。どうぞ、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、このしもべの祈りを聞いてください。私は今、あなたのしもべイスラエル人のために、昼も夜も御前に祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエル人の罪を告白しています。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。

2

私たちは、あなたに対して非常に悪いことをして、あなたのしもべモーセにお命じになった命令も、おきても、定めも守りませんでした。しかしどうか、あなたのしもべモーセにお命じになったことばを、思い起こしてください。『あなたがたが不信の罪を犯すなら、わたしはあなたがたを諸国民の間に散らす。あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの命令を守り行うなら、たとい、あなたがたのうちの散らされた者が天の果てにいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住ませるためにわたしが選んだ場所に、彼らを連れて来る』と。これらの者たちは、あなたの偉大な力とその力強い御手をもって、あなたが贖われたあなたのしもべ、あなたの民です。ああ、主よ。どうぞ、このしもべの祈りと、あなたの名を喜んで敬うあなたのしもべたちの祈りとに、耳を傾けてください。どうぞ、きょう、このしもべに幸いを見せ、この人の前に、あわれみを受けさせていただきますように。』そのとき、私は王の献酌官であった。

3

聖書のみことばに基づいた祈り

私があるあなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことが、あなたに臨み、あなたの神、【主】があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたがこれらのことを心に留め、あなたの神、【主】に立ち返り、きょう、私があるあなたに命じるとおり、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、精神を尽くして御声に聞き従うなら、あなたの神、【主】は、あなたの繁栄を元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、【主】がそこへ散らしたすべての国々の民の中から、あなたを再び、集める。 申命30:1-3

4

聖書のみことばに基づいた祈り

- 祈りはみこころを求めみことばに従おうとする。
- 自分の罪を認める。人のせいにしたり、人のあら探しをしない。(先祖のためにも祈っている) マタイ7:5
- 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。 1ペテロ4:8 (愛し合うの反対はさばき合い)
- もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにはありません。もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 1ヨハネ1:8-9

5

自分を捧げる祈り

- 王の献酌官 自分のキャリア、地位、財産、すべてをささげた(12年間の休暇)
- 誰かがやればいい、やるべき。自分は？
- イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行い、あなたがたがみこころを行うことができるために、すべての良いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。アーメン。 ヘブル13:21

6

自分を捧げる祈り

- 神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。ご覧なさい。神のみこころに添ったその悲しみが、あなたがたのうちに、どれほどの熱心を起こさせたことでしょうか。
2コリ7:10-11
- あなたが、この場所とその住民についての神のことばを聞いたとき、あなたは心を痛め、神の前にへりくだり、わたしの前にへりくだって自分の衣を裂き、わたしの前で泣いたので、わたしもまたあなたの願いを聞き入れます。 2歴代 34:27

7

自分を捧げる祈り

- みことばに基づいた祈り
- (神と人への)愛の祈り
- しもべ(たち)の祈り ネヘミヤ1:11
- 祈りながら行動する。ネヘミヤ2:4-5
- すると、王は私に言った。「では、あなたは何を願うのか。」そこで私は、天の神に祈ってから、王に答えた。ネヘミヤ2:4-5
- 人を成長させる祈り

8

問題を委ねる祈り

- 問題、妨害、迫害が起きた
- 武力で妨げ、殺そうとした 4:4-5、6:9、14
- ネヘミヤは敵をも神に委ねた
- 愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」
ロ-マ12:19、申命32:35
- 今日のイスラエルは？

9

神を求める祈り

- ネヘミヤは総督であったが、その前に神のしもべであった。ネヘミヤ5:14-19
- それまでの総督とは違った。「主を恐れてそのようなことをしなかった」神意識、神常識
- みことばと祈りで神が自分のうちに働くスペースを作った
- 自分の誉れより、神の栄光を求めた(この世のシステムとの違い)
- 人にほめられるより、神にほめられることを

10

ネヘミヤの祈りから学ぶ

- 常識的な総督ではなく、神常識で動いた(神を常に意識すること。非常識ではない)
- すべての職場で、生活の場で、神のしもべ(クリスチャン)として生きる、世の光として
- 多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求される。ルカ12:48
- 普段の生活で、日々主に仕えるチャンスを求める
- ネヘミヤの祈りと「主の祈り」

11